



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



エフコムベースボールクラブ

第46回全日本クラブ野球選手権 (全国大会)

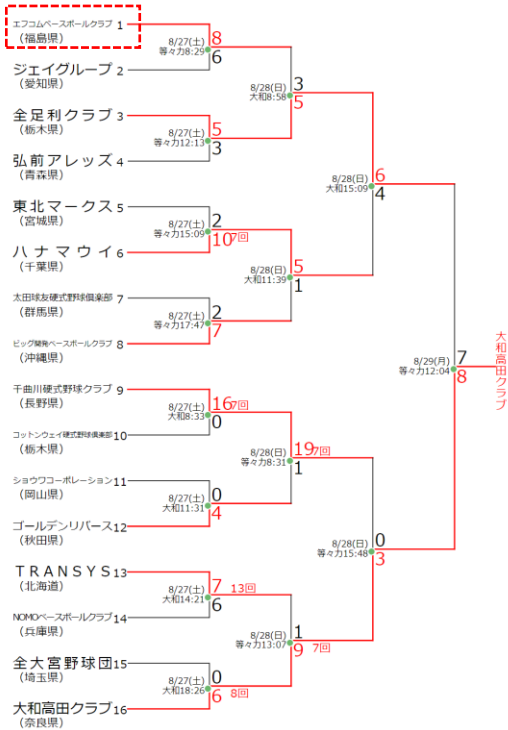
祝 全国大会出場

◆◆試合結果◆◆

1回戦 VS ジェイグループ (8対6)
準々決勝 VS 全足利クラブ (3対5)

第46回全日本クラブ野球選手権大会

等々力:等々力球場
大和:大和スタジアム



全国大会でのご声援ありがとうございました!

酒井 良信 代表より

大舞台でも、それぞれの選手が力を発揮してくれました。

エフコムの新チームとなって初の全日本クラブ野球選手権大会。嬉しくもあり、また力の差を見せつけられるのかと心配もありました。応援だけでも力になればと、球場に近い知人友人や仕事の関係者にも連絡しました。お陰さまで社員や家族も含め多数駆けつけてくれました。

初戦も勝ち、ベスト4を懸けた試合でも堂々と五分に渡り合っていました。試合後の河野監督のコメントが頼もしいです。投手と守備を鍛えて来年また挑戦しますと、これをしっかり支えられるように社員の皆さん引き続きよろしくお願ひします。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

エフコムベースボールクラブのメンバーから大会のコメントをいただきました!

西牧 正晴 部長

エフコムベースボールクラブとして初の全国大会出場となりました。多くの方々に球場に足を運んで頂き声援を貰いました。選手はそれを力に変えて力を出し切ってくれたと思います。準々決勝敗退とはなりましたが、その場に居た方々はグラウンドとスタンドが一体となる不思議な感覚を味わったのではないのでしょうか! またワクワクとドキドキを皆さんと共有できるよう、鍛えなおして出直します。

河野 勝人 監督

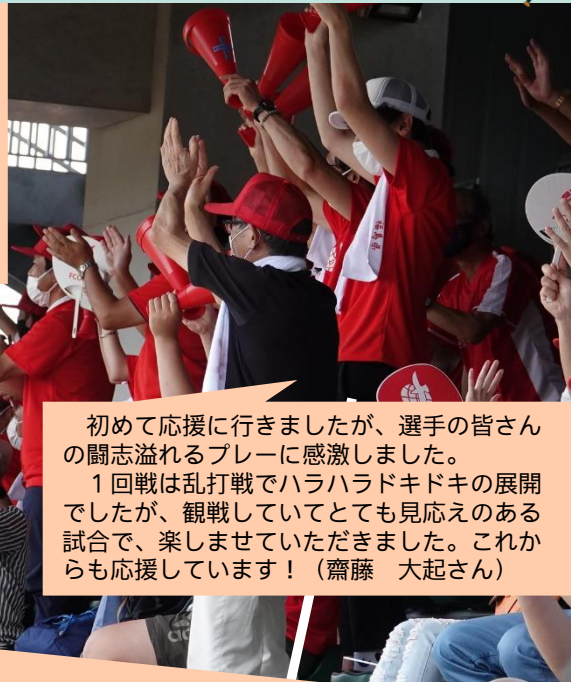
監督兼捕手/出身校: 聖光学院高校 → 国士舘大学

今大会におきまして、200人を超える方々が球場に足を運んでいただき選手、スタッフ共々、大変心強く感じました。改めてこのチームで野球が出来る喜びと感謝を選手と共感しながら全国大会の舞台でプレー出来た事を嬉しく思っております。

結果としては、準々決勝で前年度優勝チームに敗れてしまったものの、恐れることなく立ち向かっていった姿勢は今年の成長であり、選手たちは精一杯戦ってくれました。来年は今年以上の結果で恩返しをするために、自身も選手も成長した姿で全国大会に挑戦します。今後とも温かいご声援を宜しくお願い申し上げます。

応援に参加したメンバーから観戦のコメントをいただきました!

今回、関東開催ということで初めて現地で応援させていただきました。試合は、会場の空気と相まって適度な緊張感での始まりとなりましたが、回を追うごとに白熱する試合展開となり、私自身もヒットやファインプレーが出る度に夢中でメガホンを叩き付けて手と膝を若干痛めてしまいました(笑)
以前より社内報等を通じてご活躍はかねがね伺っておりましたが、球場では応援団を含めてチームエフコムとして一丸となって試合に臨んでいると肌で感じる事ができました。
選手・チームの皆さん今回もお疲れ様でした。熱い試合をありがとうございました。これからも頑張ってください!! (鈴木 勇亮さん)



初めて応援に行きましたが、選手の皆さんの闘志溢れるプレーに感激しました。
1回戦は乱打戦でハラハラドキドキの展開でしたが、観戦してとても見応えのある試合で、楽しませていただきました。これからも応援しています! (齋藤 大起さん)



甲子園での熱い試合がまだ続いているかのような、1点を争う白熱した熱戦でした。鋭い打球、正確な送球、ファインプレーが出るたびに応援団席は歓喜でした。
私自身、息子が昨年まで高校球児でした。約10年間追っかけを楽しんできましたが、引退してしまい心にポッカリ穴があいた感じでした。これからは、エフコムベースボールクラブの応援が出来ることをとても楽しみにしております。
高校野球も、今年初めて深紅の優勝旗が東北へ渡りました。東北の野球の強さを「エフコムベースボールクラブ」からも全国へ発信していけるよう、これからも全力で応援します。
早朝より応援へ行かれた皆様、お疲れさまでした。そして選手の皆様、これからも頑張ってください。(久下 香織さん)



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

1回戦 VS ジェイグループ

3回表、先頭の矢代選手がセンター前ヒット、盗塁、渡辺翼選手の進塁打で一死三塁とし八百板選手のショートゴロで先制。その裏、相手に逆転タイムリーを許し、5回裏には1点を追加されます。6回表、二死から河野選手がレフト前ヒット、中島選手の右中間スリーベースで1点を返し、鈴木俊也選手の左中間スリーベースで同点に。7回表には渡辺翼選手のレフトへの犠牲フライで勝ち越し、続いて八百板選手のスタンドインで流れを引き寄せ、スコア8対6で初戦を突破しました。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E	TIME																	
エフコム	0	0	1	0	2	2	1	2	8	13	1	1	3:13																	
ジェイグループ	0	0	2	0	1	0	0	2	1	6	1	1																		
SPEED km/h													エフコム																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	UMPIRES	1	2	3	4	5	6	7	8	9												
B	H								PL	IB	SB	7	6	9	0	5	3	8	2	4										
5	E								御	加	堀	平	村	矢	渡	八	河	越	越	鈴	高	若	佐							
0	F								島	原	川	本	尾	本	田	藤	藤	越	田	上	代	賀	板	野	烈	津	後	野	本	朝

小川 佳斗 選手 <先発>

投手/出身校： 八戸学院光星高校 ⇒ 八戸学院大学



芳屋 快 選手 <中継ぎ>

投手/出身校： 能代松陽高校 ⇒ 福島大学



佐藤 一希 選手 <中継ぎ>

投手/出身校： 東海大学付属札幌高校 ⇒ 八戸学院大学



佐藤 翔 選手 <抑え>

投手/出身校： 東海大山形高校 ⇒ 八戸学院大学



試合後のコメント

5回裏の相手の攻撃では、無死から四球、盗塁後、飛びつく中島選手のグラブを弾く一塁線ツーベースで得点されるなど、途中苦しい展開がありましたが、6回、7回に立て続けにヒットを重ね、その裏踏ん張る守備でピンチを凌ぎ、スコアボードが物語るとおりの3時間を超える大激戦をものにして1回戦突破です。



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準々決勝 VS 全足利クラブ

2回表、ヒットと四死球の二死満塁から岩崎選手のショート内野安打で1点を先制しました。3回表、二死から4番河野選手の打った瞬間に判るレフトスタンドへのソロホームランで1点追加。その裏、一死三塁から相手4番に左中間を破られ、走者一掃のツーベースで逆転を許します。4回表、先頭中島選手がライナーでライトスタンドに叩き込み同点へ持ち込みました。しかし、8回裏、相手に2点を奪われてしまい、スコア3対5で全国大会に幕を閉じました。



小川 佳斗 選手 <先発>

投手/出身校：八戸学院光星高校 ⇒ 八戸学院大学



岩崎 凜太郎 選手

内野手/出身校：安達高校 ⇒ 東北公益文化大学



河野 勝人 選手

監督兼捕手/出身校：聖光学院高校 ⇒ 国士舘大学



中島 周作 選手

内野手/出身校：聖光学院高校 ⇒ 仙台大学



試合後のコメント

接戦の状況が続きましたが勝利の女神は相手チームに微笑み、今年のクラブ選手権の戦いは終わりました。流れが来ていたようにも感じられたので大変残念な結果であり、惜しくもこの先の道程は絶たれましたが昨年の覇者に懸念に食らいつく試合で、全国大会という舞台で爪痕を残すことができたのではないのでしょうか。今後の活躍を期待しています。炎天下や雨天の中での2試合、大変お疲れ様でした。